



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年7月26日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン  
 コード番号 7732 URL <https://www.topcon.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 聡  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 秋山 治彦 (TEL) 03-3558-2536  
 財務本部長  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	47,018	20.9	3,834	10.8	3,993	24.4	2,790	53.0
2022年3月期第1四半期	38,898	58.8	3,458	—	3,208	—	1,823	—

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 8,179百万円(286.5%) 2022年3月期第1四半期 2,116百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	26.52	26.51
2022年3月期第1四半期	17.33	17.33

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第1四半期	198,228	90,450	44.8	844.02
2022年3月期	184,983	85,150	45.1	793.57

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 88,799百万円 2022年3月期 83,491百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	26.00	36.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	190,000	7.7	18,000	13.1	17,000	14.7	12,000	12.2	114.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無
- (注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	108,179,842株	2022年3月期	108,179,842株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,969,762株	2022年3月期	2,969,690株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	105,210,098株	2022年3月期1Q	105,187,429株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(会計方針の変更) .....	7
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期における経済環境は、各国で状況が異なるものの新型コロナウイルス感染症拡大の影響から経済活動が正常化に向かおうとしておりますが、世界的な部材不足や物流費の高騰、米欧を中心としたインフレの進行や金融引き締め、中国でのロックダウンによる活動制限、またロシアによるウクライナへの軍事侵攻の長期化等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境にあつて当社グループは、『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、「尖ったDXで、世界を丸く。」をスローガンに、持続可能な社会の実現に向け、医・食・住の諸課題をDXソリューションで解決するグローバル企業として、企業価値向上の実現に取り組んでまいりました。

こうした中で、当第1四半期の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

売上高は、部材不足による出荷遅延の影響を受けたものの、調達・設計・製造面での各種施策により需要に対応したこと、及び円安の影響等により増加し、47,018百万円（前年同期と比べ20.9%の増加）となりました。利益面では、部材価格・物流費の高騰の影響が顕在化しましたが、売上高増加の影響等により、営業利益は3,834百万円（前年同期と比べ10.8%の増加）となり、経常利益は3,993百万円（前年同期と比べ24.4%の増加）となりました。これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,790百万円（前年同期と比べ53.0%の増加）となりました。

#### （事業セグメント毎の経営成績）

スマートインフラ事業は、部材不足による出荷遅延の影響を受けながらも、国内向けの堅調な販売、東南アジア・インド向けの販売が復調したこと等により、売上高は9,862百万円（前年同期と比べ13.4%の増加）となりました。営業利益は、部材価格高騰の影響が顕在化したものの、主に売上高の増加により1,607百万円（前年同期と比べ24.9%の増加）となりました。

ポジショニング・カンパニーは、部材不足による出荷遅延が拡大しながらも、主力の北米・欧州において建設・農業市場の堅調な需要を取り込んだこと等により、売上高は27,314百万円（前年同期と比べ20.6%の増加）となりました。営業利益は、売上高の増加はあったものの、物流費や部材価格の高騰の影響が顕在化したこと等により2,864百万円（前年同期と比べ△6.4%の減少）となりました。

アイケア事業では、部材不足による出荷遅延や中国ロックダウンの影響を受けながらも、北米・欧州向け販売が好調に推移したこと等により、売上高は14,051百万円（前年同期と比べ23.3%の増加）となりました。営業利益は、物流費や部材価格の高騰の影響が顕在化しましたが、主に売上高の増加により、559百万円（前年同期と比べ139.4%の増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の財政状態は、総資産が198,228百万円、純資産が90,450百万円、自己資本比率が44.8%となりました。総資産は、主に売上債権等が減少したものの、棚卸資産の増加や、米国リース会計基準の適用開始による固定資産の増加等により、前期末（2022年3月期末）に比べ、13,244百万円増加いたしました。また、純資産は、配当金の支払による減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益や為替換算調整勘定等が増加したこと等により、5,300百万円増加いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末（2022年3月期末）から0.3%の減少となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月12日に公表いたしました前回予想から変更はございません。なお、今後の業績推移、市況動向を注視し、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	20,124	22,646
受取手形及び売掛金	45,864	41,900
商品及び製品	19,510	24,110
仕掛品	1,805	1,973
原材料及び貯蔵品	18,309	21,757
その他	10,658	11,079
貸倒引当金	△2,232	△2,442
流動資産合計	114,041	121,026
固定資産		
有形固定資産	24,863	30,357
無形固定資産		
のれん	9,741	10,231
その他	20,172	20,793
無形固定資産合計	29,914	31,024
投資その他の資産	16,164	15,820
固定資産合計	70,942	77,202
資産合計	184,983	198,228
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,687	16,300
短期借入金	5,586	7,621
リース債務	1,415	2,540
未払法人税等	2,152	1,190
製品保証引当金	1,444	1,602
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
その他	25,108	26,738
流動負債合計	61,394	65,993
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	2,547	2,530
リース債務	3,812	7,494
役員退職慰労引当金	59	37
退職給付に係る負債	4,333	5,019
その他	7,685	6,701
固定負債合計	38,438	41,783
負債合計	99,833	107,777

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,706	16,706
資本剰余金	20,608	20,608
利益剰余金	45,670	45,727
自己株式	△3,171	△3,171
株主資本合計	79,813	79,870
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	900	776
繰延ヘッジ損益	△72	94
為替換算調整勘定	3,088	8,283
退職給付に係る調整累計額	△238	△226
その他の包括利益累計額合計	3,677	8,928
新株予約権	67	89
非支配株主持分	1,591	1,562
純資産合計	85,150	90,450
負債純資産合計	184,983	198,228

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	38,898	47,018
売上原価	18,566	22,186
売上総利益	20,331	24,831
販売費及び一般管理費	16,872	20,997
営業利益	3,458	3,834
営業外収益		
受取利息	18	29
受取配当金	16	16
為替差益	34	792
投資有価証券評価益	55	-
その他	49	94
営業外収益合計	174	933
営業外費用		
支払利息	117	138
持分法による投資損失	34	81
投資有価証券評価損	-	430
支払補償費	123	-
その他	148	123
営業外費用合計	424	774
経常利益	3,208	3,993
税金等調整前四半期純利益	3,208	3,993
法人税、住民税及び事業税	1,170	995
法人税等調整額	176	193
法人税等合計	1,346	1,188
四半期純利益	1,862	2,804
非支配株主に帰属する四半期純利益	39	13
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,823	2,790

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	1,862	2,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△70	△123
繰延ヘッジ損益	15	167
為替換算調整勘定	271	5,308
退職給付に係る調整額	41	12
持分法適用会社に対する持分相当額	△4	11
その他の包括利益合計	253	5,375
四半期包括利益	2,116	8,179
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,085	8,041
非支配株主に係る四半期包括利益	30	137

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループの米国会計基準適用子会社は、当連結会計年度より、米国会計基準ASC第842号「リース」の適用を開始しております。これにより米国会計基準適用子会社において、リースの借手は、原則として全てのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとなりました。

この取扱いにより、当連結会計年度の期首の連結貸借対照表において、リース資産が4,159百万円、リース債務が4,461百万円、それぞれ増加し、固定負債の「その他」が301百万円減少しております。

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	スマートインフラ 事業	ポジショニング・ カンパニー	アイケア事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,651	21,609	11,361	275	38,898	—	38,898
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,049	1,036	37	0	4,122	△4,122	—
計	8,700	22,645	11,398	275	43,020	△4,122	38,898
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,287	3,061	233	△89	4,493	△1,034	3,458

(注) セグメント利益の調整額△1,034百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	スマートインフラ 事業	ポジショニング・ カンパニー	アイケア事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,704	26,055	13,997	260	47,018	—	47,018
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,157	1,258	53	1	4,470	△4,470	—
計	9,862	27,314	14,051	261	51,488	△4,470	47,018
セグメント利益又は セグメント損失(△)	1,607	2,864	559	△104	4,927	△1,093	3,834

(注) セグメント利益の調整額△1,093百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

〔海外売上高〕

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位：百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	12,604	10,142	2,986	3,259	2,506	31,500
連結売上高						38,898
連結売上高比(%)	32.4	26.1	7.7	8.4	6.4	81.0

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位：百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	18,465	11,092	2,491	4,381	2,452	38,883
連結売上高						47,018
連結売上高比(%)	39.3	23.6	5.3	9.3	5.2	82.7

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。  
2. 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。  
中南米、中東、ロシア、アフリカ